

## 長野県佐久地方における稲田フナ養殖の現状

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井口, 恵一郎, 鶴田, 哲也, 山口, 元吉, 羽毛田, 則生 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010499">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010499</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



## 長野県佐久地方における稲田フナ養殖の現状

井口恵一朗・鶴田哲也・山口元吉・羽毛田則生

長野県佐久地方で営まれる稲田フナ養殖の現状把握を目的に、アンケート調査を実施した。就業者の平均年齢は70代に近づき、新規の参入は少なかった。フナ仔魚は圃場内の天然餌料で育ち、稲葉や鶏糞の投入によりプランクトンの発生を促す工夫があった。フナ健康が配慮され、抗菌剤や防虫剤の使用は控えられたが、除草剤使用に関して高齢者の間で容認の傾向があった。また、生産者は、低農薬・有機栽培のフナ米に、慣行栽培米にはない付加価値を意識していた。さらに、稲田養魚には、魚飼いの喜びや食慣習の地域共有等、経済評価に馴染まない効用が見出された。

水産技術, 4 (1), 1-6, 2011